

**現在の景気**：県内景気は、緩やかな持ち直し傾向が続いているが、このところ足踏みがみられる。非製造業では、観光や飲食などの対面型サービス業で回復が続いているが、物価高による節約志向の影響もみられる。製造業では、生産活動が弱含みとなっている。建設需要は、交通インフラ整備などの公共工事請負額の増加を背景に底堅く推移しているが、住宅をはじめとする民間部門では、建設コスト上昇や人手不足の影響がみられている。

**3か月程度の見通し**：非製造業は、物価高や人手不足の影響を受けつつも対面型サービス業を中心に持ち直しの動きが続く一方、製造業は、弱含んだ状態が続くとみられる。米トランプ関税などの影響で先行きの不確実性が高い状態が続いている。

**個人消費**：①底堅さを維持しているものの、節約志向もみられる。②9月の県内百貨店（存続店ベース）の売上は、前年同月比0.7%減と2か月ぶりに前年を下回った。厳しい残暑により、秋物衣類の販売が振るわなかつたほか、食料品を中心に物価高の影響もみられた。10月以降は、気温の低下に伴い、季節商材が動き出した模様。9月の自動車登録台数は、前年同月比2.4%減と5か月連続で前年を下回った。軽乗用車（同1.2%増）は増加したものの、一般乗用車（同4.1%減）が減少した。

**住宅建築**：①弱含み。②9月の新設住宅着工戸数（後方3か月移動平均）は前年同月比11.2%減少し、6か月連続で前年を下回った。分譲（同1.1%増）は増加したものの、賃家・給与住宅（同10.1%減）、持家（同2.2%減）は減少した。

**設備投資**：①振れがあるものの、高水準とみられる。②国土交通省の「建設着工統計」（非居住用）によると、9月の工事床面積（年度累計）は前年同期比47.4%減、工事費予定額は同31.0%減となった。ひまわりベンチャー育成基金（調査研究部門：千葉経済センター）によるアンケート調査\*では、25年度設備投資計画（9月末時点）は、期初計画から上方修正され、24年度比34.3%減となっている。企業の投資マインドを示す増減企業割合をみると、25年度は「横ばい」と回答する先が5割強となる中で、「増加」との回答が「減少」を上回った。

**公共工事**：①増加。②9月の県内公共工事請負額（年度累計）は、前年同月比33.4%増加した。国（同15.5%減）は減少したが、独立行政法人等（同79.5%増）、市町村（同47.4%増）、県（同3.8%増）で増加した。

**輸出**：①増加。②9月の成田、千葉、木更津3港合計通関輸出額は、前年同月比13.2%増と23か月連続で前年を上回った。成田空港は半導体等製造装置（同8.4%増）、非鉄金属（同27.5%増）などが増加し、同12.3%増と22か月連続で前年を上回った。千葉港は、石油製品（同66.3%増）や半導体製造装置（同131.0%増）などが増加し、同32.6%増と8か月ぶりに前年を上回った。木更津港は、鉄鋼（同8.9%減）などの減少から、同1.8%減と2か月ぶりに前年を下回った。

**生産活動**：①弱含み。②8月の県鉱工業生産指数（季調値、2020年=100.0）は、96.5（前月比1.3%上昇）と2か月連続で上昇した。金属製品工業（同6.5%低下）などが低下したが、石油・石炭製品工業（同16.5%上昇）、化学工業（同3.3%上昇）などが上昇した。

**観光**：①底堅い。②県内の観光・宿泊施設では、好調な入込が続いている。10月中は、関東三大山車祭りのひとつに数えられる「佐原の大祭秋祭り」（10月10日～12日、香取市）や県内最大級の神輿が城下町を練り歩く「佐倉の秋祭り」（10月10日～12日、佐倉市）など秋の伝統イベントが開催され、多くの人出で賑わった。千葉市の総合公園「昭和の森」では、コロナ禍以降、中止が続いている「昭和の森大花火大会」が6年ぶりに再開した（18日）。

**雇用情勢**：①人手不足感が強い状態が続いている。②9月の有効求人倍率（季調値）は、前月と同じ0.98倍となった。有効求人数（同0.5%減）、有効求職者数（同0.3%減）はともに減少した。ひまわりベンチャー育成基金のアンケート調査\*における雇用実績BSIは、大幅な「不足」超が続いている。

## 【トピックス】

- 経済産業省及び国土交通省は、洋上風力発電の実現に向けて利害関係者との協議を進める「準備区域」として、新たに旭市沖を指定した（3日）。
- バスケットボールBリーグの各クラブの24～25年決算が発表され、千葉ジェッツの売上高は、新本拠地の開業効果などから、全体1位となる約51.7億円（前年度比1.7倍）を計上し、Bリーグのクラブとして初めて50億円を超えた（14日）。
- 「ららぽーと東京ベイ」で2区域に分けて建て替えを行っている北館のI期エリアが開業した（31日）。2階建てから3階建てに拡張され、3階のフードゾーンには日本一の店舗数となる38店舗が出店する。

\* 調査実施時期：25年9月～10月。有効回答数168社。